

定例記者会見 市長原稿
令和7年10月7日（火）
午前10時00分
全員協議会室

○冒頭挨拶

- ・ おはようございます。
- ・ それでは定例記者会見の冒頭にあたり、何点かお話しさせていただきます。
- ・ はじめに、職員の逮捕や昨今頻発する事務ミス等、市民の皆様の信頼を大きく損ねる不祥事が相次いでいることへの対策についてですが、公務員倫理といった、職員個人の意識改革に取り組むことはもちろんのこと、市の組織風土・文化といった部分にも改革のメスを入れていく必要があると認識しています。
- ・ そこで、職員を中心とした検討チームを立ち上げ、職員の意識改革の方策や適切な事務処理を行うことができる組織構造・業務フローの構築等を検討し、この検討結果を基に、庁内全部局を挙げて改革に全力で取り組み、市民の皆様の信頼回復に努めてまいりたいと考えています。
- ・ 現在、この検討チームの立ち上げの準備を鋭意進めているところでありまして、準備が整い次第、改めて詳細をお示ししたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

- ・ 次に、10 月 3 日にこゆるぎ通信を発信させていただきました
「小田原市・小田原医師会・常葉大学による事業連携協定」について、
改めてこの場をお借りしてご案内させていただきます。
- ・ このたび本市では「運動処方」の仕組みを地域に広げる取り組みを
実施するため、小田原医師会及び常葉大学と「健康増進環境の質
向上に向けた医療・地域連携モデル共創事業に関する連携協定」を
締結します。
- ・ 「運動処方」とは、健康スポーツ医が運動を薬のように処方し、
健康運動指導士や運動施設と連携して市民の健康づくりを支援する
仕組みで、医師会・大学・市が連携した取り組みとしては全国的にも
珍しいものです。
- ・ 明後日 10 月 9 日（木）午後 2 時より、市役所 3 階・庁議室にて協定
締結式を行いますので、記者の皆さまにはぜひお越しいただき、
市民の健康寿命の延伸に向けた重要な一步を取材いただきたく
存じます。
- ・ 次に、本日、こゆるぎ通信を卓上配布させていただいておりますが、
昨年度から連続で開催している「持続可能な地域社会のデザイン」に
ついてです。
- ・ こちらは、今年度策定する第 1 期実行計画において、特に市民の皆様

とイメージの共有が必要と考えられる分野の有識者をお招きし、国内外の先進事例や課題解決の視点を多くの方々と共に学ぶとともに、本市が目指すまちづくりの方向性をご理解いただくために開催しているものです。

- ・ 第7回となる今回は、10月22日（水）午後2時30分から、市役所本庁舎3階、この場所であります議会全員協議会室において、「小田原ものづくり未来会議」と題し、各地のものづくりのサポート活動続ける（株）^{タイムレス}TIMELESS代表であり、（同）ててて協働組合共同代表を務める永田 宙郷（ながた おきさと）氏をお招きし、「小田原のものづくり」が広がり、未来へ発展していくためのヒントを考えます。
- ・ 地域資源が大変豊富で、歴史の中でさまざまななりわいやものづくりが育ってきたこの小田原が、今後もこのポテンシャルをさらに発揮できるように、永田氏のご経験や知見に学びたいと考えております。
- ・ 以上で冒頭のご挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いします。